開成町と富士山（その２）

富士山が世界文化遺産に登録されたことに合わせて、
「開成町と富士山」シリーズを連載しています。おたのしみください。

問 教育総務課　☎82-5221

富士山はだれのもの？正面はどこ？

富士山はだれのもの？

富士山は開成町から見て、左（南）半分は静岡県の富士宮市、富士市、御殿場市、小山町、右（北）半分は山梨県の富士吉田市と鳴沢村の区域です。各市町村の境界線は、富士山頂から放射状にふもとに広がっています。山頂の東側五キロは、無居住地のため静岡山梨の県境がありません。また、山頂には富士宮市にある富士山本宮浅間神社の奥宮があり、八合目以上はその境内地です。こまかくは以上ですが、広い意味では、富士山はもとより日本人みんなのものです。

富士山はきれいな円すい形で、分類上はコニーデ型火山に属します。むかしからお米一升（十合、一、八リットル）をこぼした時の形にたとえられ、ふもとを一合目、山頂を十合目と呼んできました。

正面はどこ？

開成町側も、静岡県側も、山梨県側も、千円札の本栖湖から見た富士山も、どこでも正面です。ただし江戸時代、士農工商の上下社会をつくった徳川家康は、富士山についても平等をきらい、富士宮市の山宮浅間神社から山頂をめざす村山登山道（閉鎖中、いまの富士山スカイラインの近く）を正面入口としました。山宮神社の鳥居の奥には、ふつうならあるはずの神社の建物がありません。代わりに遥拝所（遠くから神仏を拝む場所）があり、「正面」から見た富士山そのものが、ご神体としてそびえています。

（文化財保護委員会　井上　東亜）

山宮浅間神社　遥拝所からの富士山
（山宮神社ホームページより）

＊文　芸

三月詠

大雪と孫の受験が重なりて
無事を祈りぬ ―一日案じつつ

杉本シズ子

大雪とお孫さんの受験が重なった日、作者は、『遅刻せずに会場に着いたか。出来具合は？』など、一日中、気を揉みながら無事終るのを祈った。受験生を持つ身内の心情を如実に物語っている歌。

ほの赤き桜の幹に触れてみぬ
人を拒むが如き冷たさ

吉田　志麻

作者は、桜が人々の観賞対象物の裏で、本歌のような営みを人知れずしているのだと感得した。注目度の低いものを通じ、眼に見えない所の本質を見抜くこと、その大切さを詠んでいると言えよう。

短歌

ともしび短歌会

百を超す赤き前だれの地蔵群
この世のほかに迷ひゐる様

辻岡　洋子

作者は、「上の句」のような光景を見た瞬間、「下の句」の如く現実ではない、異様とも思える時空を強く意識したという。感じたままを素直に詠むことで、驚きが想像でき、印象深くさせている。

近藤　正臣　選

四月吟

桜鯛独りの膳の至福かな

遠藤マツエ

真鯛は姿も良く、古くから慶事に良く使われている。産卵時期と桜の頃と重なる所から〈桜鯛〉又は〈花見鯛〉とも言う。
掲句は独りきりの食生活に焦点を絞り、普通は味気ないのだが作者は〈桜鯛〉を前にして最高の倖を感じ入っているのである。

新井たか志　選

俳句

開成俳句会

父の計に始発を待てり霜の果て　波多野すみ枝
桜鯛大漁となる瀬戸の海　有賀　孝子
亡き友の本読み返す日永かな　遠藤まつ子
愛ねこの眠る丘なり忘れ霜　瀬戸　悦子
古希の日や白磁の皿の桜鯛　下澤　操子
往来の笑ひさざめく花の昼　奥津ちわき
桜鯛主役の嬰の深ねむり　遠藤シヅ子
朝晴の庭の片隅忘れ霜　濱本　主雄
銀箔の素肌見せたる桜鯛　遠藤美津子
鉄骨の鉄の匂ひの春時雨　新井たか志

生き生きレポート

4月、町内2校の各小学校に、新しい校長先生が着任されました。校長先生に今年度の目標を聞きました。

開成南　小学校校長　石綿　一弘

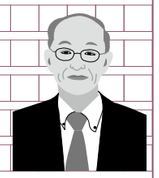
「〇〇合い」を大切に

小学校は、学区に住む小学校一年生から六年生年代までの子どもたちが集う場所です。いろいろな子どもたちが、一緒に学んだり、運動したり、給食を食べたり、清掃したりします。そこで今年度本校では、特に「触れ合い」「学び合い」「認め合い」「助け合い」などを大切にしながら、教育活動を推進していきたいと考えます。

開成　小学校校長　井上　義文

「すてさな人」に

開成小学校は「開物成務」「進取の気性」の精神とともに歩んでさました。今年度、先輩諸事の実践を基に、勉学に励み、芸術・文化に親しみ、労作・体験を重視し、体育・遊びをおおいに盛り上げ、「知・情・意・体」の調和ある「すてさな人」を育てていさたいと考えています。



図書室だより（５月）

町民センター３階

※貸し出し冊数は４冊まで、期限は２週間です

【開室時間】火～金曜日　10:00～20:30
土・日曜日　10:00～17:00
祝日(6日)　10:00～17:00
【休 室 日】毎週月曜日

今月のこの１冊

人生のお福分け　清川　妙　著

「お福分け」は「お裾分け」と同じ意味で、頂き物を人に分けるときに使う言葉である。「しあわせを分けあう」という親愛感で使いたいと、あとがきにはある。

著者は1921年生まれ。執筆活動や講演会のかたわら、50歳過ぎで英会話を始めたり、江戸検定１級を目指して勉強したりと忙しい。

本書では人生の中でみちしるべとなった本や、師の言葉などが「お福分け」されている。

新しく購入した図書（主なもの）

●一般書●

・ぼくの守る星　神田茜
・微睡の海　熊谷達也
・紅花染め秘帳　平岩弓枝
・ジンリキシャングリラ　山本幸久
・願いながら、祈りながら　乾ルカ
・そして、星の輝く夜がくる　真山仁
・とらわれて夏　ジョイス・メイナード

●児童書●

・石を抱くエイリアン　濱野京子
・クグノビックリバコ　いとうひろし
・かあさんのしっぽっぽ　村中李衣
・つかまえた！　鈴木まもる
・マウとバウの新しい家　ティモ・パルヴェラ

みんな集まれ！子どもの広場・おはなし会

◇子どもの広場
内　容　「きつつき」をつくります
日　時　５月17日㈯　10：00～
持ち物　はさみ、カラーペン
対　象　５歳（保護者同伴）～
場　所　町民センター２階　小会議室Ａ
申し込みは直接図書室へ　または、TEL 82-5221

◇おはなし会（第２土曜日、第３水曜日）
日　時　５月10日㈯　10：30～
５月21日㈬　15：00～
場　所　町民センター３階図書室
申し込みはいりません

毎月１日は、【開成ファミリー読書デー】
家族みんなで本を読もう!

●家庭・地域・学校などでの読書活動を推進するため、開成町では毎月１日を「開成ファミリー読書デー」にし、読書活動を推進します。